

【評価実施概要】

事業所番号	19120021		
法人名	株式会社橙果社		
事業所名	グループホームこもれびの家		
所在地	〒061 - 1355北海道恵庭市島松寿町1丁目16番5号 (電話) 0123 - 36 - 8477		
評価機関名	特定非営利活動法人福祉サービス評価機構Kネット		
所在地	〒060 - 0061札幌市中央区南1条西5丁目7愛生館ビル601B		
訪問調査日	平成21年2月24日	評価確定日	平成21年3月26日

【情報提供票より】

平成21年2月6日記載

(1) 組織概要

開設年月日	平成 20 年 7 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤 13 人, 非常勤 4 人,	常勤換算2.4

(2) 建物概要

建物構造	木 造り		
	2 階建ての	1	2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	29,000 円	その他の経費(月額)	美容代 1,500円 他実費
敷 金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	(無 円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		986 円

(4) 利用者の概要 (2 月 6 日現在)

利用者人数	18 名	男性 6 名	女性 12 名
要介護 1	2名	要介護 2	3名
要介護 3	9名	要介護 4	3名
要介護 5	1名	要支援 2	0名
年齢	平均 84.1 歳	最低 72 歳	最高 94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	尾形病院、島松病院、恵み野病院
---------	-----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームはJR島松駅から北方へ徒歩10分、閑静な防風林に接した住宅地にあり、2ユニット2階建て、構成は居室部と居間・調理場、その間に入浴室とトイレが配置され、職員の工夫で個々の居室周りの表示・装飾や雰囲気作りをしている。入所者は男性も多く、職員に男性が多いのも特徴、全職員の業務態度は誠実で利用者のニーズに応えており家族の評価が高い。運営推進会議は運営状況を資料を適切に開示して開催するなど、運営理念に倣い地域連携に意を用いており、地域の密度の高い支援を得ている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	今回が初めての評価となる。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価に係わる全職員の参加認識は確かで全体評価構成を基に当該項目の評価に当たっている。評価は項目の要素に触れ具体的である。今後の業務の方向性を確かめながら評価している。今後の一層の取り組みに期待したい。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	会議はホームの運営上の要素に係わった事項に基づいたデータを資料として示して、説明するとともに、利用者に関するほか家族へ連絡や情報提供に係わる資料を示して親しく理解や話題が幅広くかつ深まる工夫を重ねて運営している。委員の出席率は90パーセントと高い。また関係機関の協力もよく相互の成果に期待したい。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	月々の連絡事項、訪問時の対応での日常生活状況を説明するとともに、近況時の対応など意見・苦情を聴取しようとする態度が明確に示されている。運営推進会議開催の方途もその一環と考えられる。サービスの当事者関係の多面性・多様性をふまえて一層の高い対応を期待したい。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	実践理念に地域社会の一員としてケアに当たるとの考えを具体的に地域の協力を得て、近隣関係・地域の祭りなどの行事、災害予防などの関係協力の話し合いなど積極的に連携が進みつつある。

評価結果(詳細)

NPO法人 福祉サービス評価機構 Kネット

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	運営理念に地域の一員として地域住民との連携を図り、家庭的な生活環境に努めている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員は理念を日常的な取り組むとともに、行動指針を居間などに皆が分かるよう掲出して、職員の確かめとしている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ユニットごとに町内会に加入しており、町内の行事や地元の鳴子祭りなどに積極的に参加して、密度の高い、身近な隣近所の交流を図っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全員で日頃の業務を点検する機会と捉えて、評価の意義を確認し改善点・良い点を洗い出すよう努めて取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議には利用の介護状況、職員研修、評価活動、ボランティア、行事、他ホーム交流など多様な活動状況を報告して、ホームの動きを示し、会議参加者の意見・指導を聴取してホームの運営に活かしている。</p>		<p>会議開催記録とともに議事録を残し、参加者の意見・指導記録を職員等関係者に必要に応じて示し、共有することを検討されたい。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>恵庭市とは日常的な相談・情報交換を行い連携を図り研修の機会を設けるなど、サービスの向上に役立っている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>適宜、行事や地域との交流など「こもれば通信」を発行してホームの生活や職員の状況など報告、月1度は利用者の生活状況や金銭関係の確認連絡、他に、心身の変化や通院・医師の指示に応じた連絡を密にしている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>契約時重要事項の十分な説明や状況の変化に合わせた連絡と説明、家族訪問時の相談と即応、第三者による苦情窓口の説明など対応に開いた姿勢で臨んでいる。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の交代には、その影響を十分考慮し、利用者本位でダメージを最小にするなど配慮するとともに、ホーム長中心に働く環境などに日頃から留意している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5.人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修には積極的で希望に応じた勤務表の編成等に配慮して概ね経験に応じた対応などで公平に実施している。また、資格取得にも支援している。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホームネットワークの会が毎月開催され、必要に応じた協議や研修・情報交換を行って相互の質的向上の機会としている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1.相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>サービスの利用に当たっての説明は初めて利用する人々の立場で、現地の見学・場の雰囲気や一日の生活の流れなど詳しく説明し、何度も訪問してホームの生活が納得できるよう働きかけている。</p>		
2.新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員利用者とともに話し合い、感じ、楽しみ、つくり、味あうような生活が出来るような雰囲気と環境を作り出そうと、隣接する防風林に集う鳥達を愉しみ、屋外の小さな畑の成長を愛でるなどの工夫に努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p align="center">. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>					
<p>1. 一人ひとりの把握</p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>アセスメントを重視して個人力を確かめ出来るだけその希望や意向を吸い取り、個々の力を活かすよう働きかけている。</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>日常生活の個々の心身の状況を精査しながら、職員相互が毎月のカンファレンスでの課題を纏めて、関係者との調整を図り適切な支援計画作成に努めている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>利用者の介護計画の変更については計画的な見直しのほか、個々の心身の変化に応じて計画の見直しが必要なときは本人・家族等関係者の合意を得ながら最適な計画を作成している。</p>		
<p> </p>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>利用者や家族の希望に応じた買い物・外出・宿泊等、必要に応じた申し出に対して、利用者本位のサービス支援の立場から可能な限りの柔軟な対応をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	医療連携体制により、看護師との24時間相談連絡体制が可能となっている。また、主治医との訪問診療により、日常の健康管理が可能となり、他の歯科医のよる定期診療や皮膚科の応診体制を整えている。		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	利用者の重度化や終末期への対応準備は主治医等と家族との相談の機会を設けてきた。この方向を今後も継続することとしている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない</p>	職員全員で利用者個々の生活の佇まいに応じて、そばに寄り添い優しい言葉かけや意向を尊重した支援を行い、一人ひとりの思いを大切にしている。		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	利用者個々の生活習慣を大切に見極め必要以上に日課を決め込まないよう努めている。個々のペース・リズムに応じて支援できるよう環境づくりをしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事づくりにはその時の食べたいものを、どう作るかを基本として利用者がそれぞれに係われるよう努めている。可能な限り食事の前後の作業にも参加できるよう促し、励ましている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日を限定せず、入浴の希望に合わせて、可能な限りその時に対応するよう心がけ支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	家族からも多くの支援を得て本人の社会活動歴などによる経験や好み、嗜好を伺いながら、日常に表現されることをも受止めながら役割や楽しみを発見して対応している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	JR鳥松駅周辺までの散歩コースを時間をかけて巡るほか、近隣関係に支えられながら日向ぼっこ外出、行事としての遠出、買い物などそれぞれの季節や機会を大切にして取り組んでいる。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	現在はいつでも気軽に外に出られるように心がけている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年2回の避難訓練の実施、近隣町内会にも連絡し一緒に訓練をしている。施設内に近く消火装置の設置を計画している。</p>		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>毎日の処遇記録に食事量・水分量を記載し、個々の心身の状況の変化を観察しており、週1回の看護師の点検を得ている。また、栄養士にも相談をしている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居間と食堂部と居室部との平板な構成のホームであるが中心にトイレ・浴室等を配置、共用空間は存分に屋外の防風林の緑も楽しみめ室内は季節感を味合う花飾りや風鈴などをあしらう工夫をしている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>個々の生活の特徴を活かそうとする使い慣れた布団家具を配置してそれぞれの趣を活かしている。居室は整理整頓し、外気をいっぱいに入れ、温湿度の管理も良い。</p>		

 は、重点項目。